

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | 「パノラマ伊那市」観光誘客推進事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 伊那市 商工観光部 観光課 78-4111 内線 2435, 2436 |
| 事業区分 | (6) ア特色ある観光地づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,734,560円 (うち支援金: 1,387,000円) |

事業内容

鉄道のJR中央西線、JR飯田線と路線バス高遠線を利用して、南アルプス山岳高原エリアに訪れようとする登山客及び観光客の乗り継ぎ等アクセスの不便さの解消と、利便性の向上を図ることを目的として、JR中央線木曾福島駅から南アルプス登山口である南アルプス林道バス営業所とを直接結ぶ二次交通バスを運行する。また、伊那と木曾との広域観光と地域間交流の役割を担い、かつ促進を図ることも合わせて運行する。

- ・7月13日(土)～10月13日(日)44日間運行
- ・延べ58便519人乗車



【 運行の様子 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

木曾福島駅と南アルプス林道バス発着点である仙流荘とを直接二次交通で結ぶことにより、JR中央線の鉄道を利用した関西、中京圏方面からのアクセスが飛躍的に向上します。これにより北沢峠及び周辺への日帰り軽登山が容易に行うことができるため、パノラマライナーの利用者数向上に大いに期待できるものである。3年目である本年は、運行期間前半は天候に恵まれ、前年度を上回り順調であったが、台風19号の影響により秋の行楽シーズンを前に運行打ち切りを余儀なくされ、非常に残念ではあったが、全体的には昨年より乗車率が向上し良い結果となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

関西、中京圏への更なるより効果的なPR展開を図り、パノラマライナーの利用率向上を図る。

【目標・ねらい】

- ①公共交通利便性の向上
- ②観光客の増加
- ③日帰り登山の実現

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・昨年度比、約17%増の乗車率
- ・木曾福島駅から乗り継ぎなしとなり、中京圏から日帰りの軽登山が可能となった
- ・PRが実り中京圏へ二次交通運行が認識され浸透してきた

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある